

2022年度 自己点検・評価報告書

[第1章] 理念・目的

1.1. 現状説明

1.1.1. 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。

評価の視点1：建学の精神に基づいた教育理念を踏まえ、学部、学科ごとに研究科、専攻ごとに、人材育成その他の教育研究上の目的を設定しているか。

評価の視点2：建学の精神に基づいた教育理念と学部・研究科の目的は連関性を有しているか。

大学を含む学園（学校法人東海大学）は、全体の理念として次のとおり「建学の精神」を掲げている（資料A-1～3）。

「建学の精神」

創業者松前重義は、青年時代に「人生いかに生きるべきか」について思い悩み、内村鑑三の研究会を訪ね、その思想に深く感銘を受けるようになった。特にデンマークの教育による国づくりの歴史に啓発され、生涯を教育による理想社会の実現に向け努力しようと決意して「望星学塾」を開設した。ここに東海大学の学園の原点がある。

創業者松前はこの「望星学塾」に次の四つの言葉を掲げた。

若き日に汝の思想を培え 若き日に汝の体軀を養え

若き日に汝の智能を磨け 若き日に汝の希望を星につなげ

ここでは、身体を鍛え、知能を磨くと共に、人間、社会、自然、歴史、世界などに対する幅広い視野をもって、一人ひとりが人生の基盤となる思想を培い、人生の意義について共に考えつつ希望の星に向かって生きていこうと語りかけている。本学園は、このような創業者の精神を受け継ぎ、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を育てることにより、「調和のとれた文明社会を建設する」という理想を高く掲げ、歩み続けている。

さらに、この建学の精神に基づいた本学の教育理念として、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材の育成を通して、調和のとれた文明社会を建設することを教育の使命とし、「自らの思想を培う」「学生一人ひとりの素質の伸張を支援する」「文理融合の幅広い知識と国際性豊かな視野の獲得」を、人材を育成するための教育理念として定めている（資料A-4、5）。

本学（学部）における教育研究上の目的及び養成する人材像は、「若き日に汝の思想を培え、若き日に汝の体軀を養え、若き日に汝の智能を磨け、若き日に汝の希望を星につなげ」という創業者の精神に基づき、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を養成することである。さらに、グローバル化し、価値観が多様な現代社会にあっては「常に未来を見据え自らが取り組むべき課題を探求する力（自ら考える力）」、「多様な人々の力を結集する力（集い力）」、「困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する力（挑み力）」、「失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力（成し遂げ力）」を身につけた自主的・創造的

人材の輩出をもって、調和のとれた文明社会を建設することを使命・目的としている。

また、本学大学院の教育研究上の目的及び養成する人材像は、時代の変化に合わせ、積極的に社会を支えイノベーションを生み出す能力を修得させるよう、専門性に偏ることなく、より学際的視野に立ち、自ら問題解決できる、実践力のある創造的人材を養成することである（資料 A-6、7）。

学部および研究科においては、上記に示した「建学の精神」ならびに「教育の理念」、「教育研究上の目的及び養成する人材像」に基づき、23 学部および 62 学科・専攻（2022 年度募集停止学部・学科 9 学部 28 学科・専攻・課程）ごと、17 研究科および 31 専攻ごとに、「教育研究上の目的および養成する人材像」が設定されており、建学の精神に基づいた教育理念と、学部・研究科の目的との関連性も担保されている（資料 A-8、9）。

さらに、大学全体および、学部・学科、研究科・専攻の「教育研究上の目的及び養成する人材像」は、新たな教育方針の策定および教育課程の編成に合わせて、東海大学教育審議会、学部・研究科教授会等において改訂審議を行い、その適切性を保持している（A-10～12）。

このように「教育研究上の目的および養成する人材像」の適切性は保持されているものの、その点検については、定期的、組織的には実施されていない。学部および研究科が責任をもって少なくとも年 1 回の見直しを実施し、その見直しの結果を組織的に集約し、これらの適切性について学部および研究科と連携して全学的な見地から検討する体制を整える必要がある。

1.1.2. 大学の理念・目的および学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員および学生に周知し、社会に対して公表しているか。

評価の視点 1：学部、学科ごとに、また研究科、専攻ごとに、人材育成その他の教育研究上の目的を適切に明示しているか。

評価の視点 2：教職員、学生、社会などのステークホルダーに向けた刊行物、ウェブサイト等によって、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等の周知および公表をしているか。

大学の目的は、東海大学学則第 1 条で、「人道に根ざした深い教養をもつ有能な人物を養成すると同時に、高度の学問技術を研究教授することにより、人類社会の福祉に貢献することをもって目的とする。」と明示されており、各学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像は、東海大学学則別表 1 において明示されている（資料 A-8）。

大学院の目的は、東海大学大学院学則第 1 条で、「東海大学建学の精神にのっとり、専門分野における高度な学術の理論および応用を教授研究し、その意義を認識すると同時に、その深奥を究め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識および卓越した能力を培い、文化の創造発展と人類の福祉に貢献することを目的とする。」と明示されており、各研究科・専攻の教育研究上の目的及び養成する人材像は、東海大学大学院学則別表 1 において明示されている（資料 A-9）。

前述した建学の精神と大学の教育理念・目的、およびそれに基づく、学部・研究科の「教育研究上の目的および養成する人材像」は、東海大学学則、東海大学大学院学則、授業要覧、大学院要覧、東海大学オフィシャルサイト等を通じて教職員、学生、社会などのステ

ークホルダーへの周知公表を図っている（資料 A-1～9）。

1.1.3. 大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた中・長期の計画その他の諸施策を設定しているか。

評価の視点1：将来を見据えた中・長期の計画その他の諸施策を設定しているか。

1. 認証評価の結果等を踏まえた中・長期の計画等の策定

本学では、建学の精神に基づく教育理念を具現化した中期目標を 2009 年度より策定しており、第Ⅰ期（2009～2013 年度）、第Ⅱ期（2014～2017 年度）、第Ⅲ期（2018～2021 年度）、第Ⅳ期（2022～2026 年度）と点検・評価を行いながら目標の実現に向けて取り組みを進めている。2017 年には学園全体として 2042 年の建学 100 周年に向けた 25 年間の長期戦略として「学園マスタープラン」が制定され、各部門（法人管理部門/高等教育部門/初等中等教育部門/病院部門）において、「中期運営方針・事業計画（重点取組項目）【部門中期目標】」と、それに基づく「単年度運営方針・事業計画【部門単年度目標】」を策定した。これにより、東海大学第Ⅲ期中期目標より学園マスタープランにおける「中期第Ⅰ期（2017～2021 年度）運営方針・事業計画（重点取組項目）」と同期させ、取り組んでいる。

本マスタープランでは建学の精神【使命】を最上位階層として、建学の精神のもとに、「学園のあるべき姿【目的】」とこれを体現するために中長期で学園が一体となって取り組む「学園の戦略実行計画【共通戦略目標】」を位置づけ、中期Ⅰ期（5 年）ごとに検討課題・行動計画を策定している（資料 A-13）

さらに次の階層では、各部門（法人管理部門/高等教育部門/初等中等教育部門/病院部門）において、「学園の戦略実行計画【共通戦略目標】」をブレイクダウンした「中期運営方針・事業計画（重点取組項目）【部門中期目標】」と、それに基づく「単年度運営方針・事業計画【部門単年度目標】」を設定し達成度を検証している（資料 A-14）。

このような階層で整理された学園・各部門の目的・目標に従って、各機関・校舎においては、「運営計画【機関目標】」を明確にした上で諸活動を展開している。また、単年度ごとに事業計画と事業報告を用いた PDCA サイクルを確立しており、「学園の戦略実行計画【共通戦略目標】」や「中期運営方針・事業計画（重点取組項目）【部門中期目標】」を見直す体制を構築している（資料 A-14）。

2022 年度より、学園マスタープランにおける高等教育部門の中期第Ⅱ期（2022～2026 年度）運営方針・事業計画（重点取組項目）（資料 A-14）、東海大学第Ⅳ期中期目標（2022～2026 年度）を以下のとおり策定している。なお、以下の項目の内、特に 1.2.3 の項目については、2017 年度受審の認証評価結果および、2021 年度改善報告検討結果を含めて策定されたものである。

1. 『学校法人東海大学における教育目標及び教育方針』の検証体制の構築
2. 本学園独自の教育による教育効果測定手法の開発
3. 特色ある高大連携、学部・大学院の連携体制の構築
4. SDGs の理念に基づく教育プログラムの導入
5. 学びの多様化
6. 正課外教育プログラムの検証・フィードバック体制の構築

7. 研究費の傾斜配分基準の制定
8. 研究所・センターの再編
9. 研究支援体制の強化
10. 研究基金の設立及び運用
11. 学生一人当たりにかかるコストの分析
12. 多様化する働き方等に対応する取組み
13. 学園共通のガイドラインを踏まえた各キャンパスにおける施設グランドデザインの策定
14. 各部門システムに実装されたデータの調査

1.2. 長所・特色

本学では、東海大学の建学の精神と教育の理念を具現化するための科目として、1958年より60年以上にわたって「現代文明論」の講義が脈々と継続されている。当時東海大学学長だった創立者松前重義が自ら教壇に立ち、その歴史観、世界観を述べ、文系、理系を問わず歴史を大観し、広く世界に目を向けることを学生たちに説く全学共通必修科目であった。現在に至ってもその講義の目的趣旨は変わることはなく、大きく変動する現代社会にあって、人類の歴史や世界への理解を深めながら、社会のあり方を考え、学生一人ひとりに未来を拓くための展望をもつことの大切さを自覚させ、自らの思想を培うきっかけを提供する本学の教育の中核をなす科目である。

この様な大学の建学の精神や教育の理念と直接的に関係づけられた科目が、建学直後から現在に至るまで、その目的趣旨を変えることなく継続され、教育課程の中核として存在していることは、本学独自の教育上の大きな特色であるといえる（資料A-1～3）。

1.3. 問題点

「教育研究上の目的および養成する人材像」の適切性は保持されているものの、その点検については、定期的、組織的には実施されていない。学部および研究科が責任をもって少なくとも年1回の見直しを実施し、その見直しの結果を組織的に集約し、これらの適切性について学部および研究科と連携して検討する仕組みを組織体制も踏まえて来年度検討する。

1.4. 全体のまとめ

東海大学では、建学の精神を常に意識し、大学としての教育の理念・目的を明確に設定している。学部・学科、研究科・専攻においては、この建学の精神と大学の教育理念・目的を十分理解しその趣旨に基づき、教育研究上の目的及び育成する人材像を設定している。

また、建学の精神とその基調、大学としての教育の理念・目的、学部・学科、研究科・専攻の定める教育研究上の目的及び育成する人材像は、東海大学学則、東海大学大学院学則、および各種学内外刊行物、東海大学オフィシャルサイト、各種ガイダンスを通じて教職員、学生、社会などのステークホルダーへの周知公表をしている。

また、東海大学の建学の精神と教育の理念を具現化するための科目として、1958年より60年以上にわたって「現代文明論」の講義が脈々と全学共通必修科目として継続されてい

る。大きく変動する現代社会にあつて、人類の歴史や世界への理解を深めながら、社会のあり方を考え、自らの思想を培うきっかけを提供する本学の教育の中核をなす科目であり、本学独自の教育上の大きな特色である。

大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくための、大学として将来を見据えた中・長期の計画として、2009年度より中期目標を策定し実行しているが、2017年度からは、学校法人東海大学において策定された「学園マスタープラン」に従い取り組んでいる。2022年度からは「中期第Ⅱ期（2022年度～2026年度）運営方針・事業計画（重点取組項目）【高等教育部門】」を策定し、具体的に14の重点取組項目を定め、単年度ごとに点検・評価を行いながら計画を遂行している。

1.5. 根拠資料

- A-1 学校法人東海大学 学園総覧 2022
- A-2 学校法人東海大学寄附行為
- A-3 東海大学オフィシャルサイト（建学の精神）
<https://www.u-tokai.ac.jp/about/philosophy-history/spirit/>
- A-4 東海大学 TOKAI UNIVERSITY NAVIGATION BOOK 2022（大学案内）
- A-5 東海大学オフィシャルサイト（理念・憲章）
<https://www.u-tokai.ac.jp/about/philosophy-history/concept/>
- A-6 東海大学オフィシャルサイト（教育研究上の目的及び養成する人材像、3つのポリシー（学部）、アセスメント・ポリシー）
<https://www.u-tokai.ac.jp/about/philosophy-history/policy/>
- A-7 東海大学オフィシャルサイト（教育研究上の目的及び養成する人材像、3つのポリシー（大学院））
<https://www.u-tokai.ac.jp/about/philosophy-history/graduate-policy/>
- A-8 東海大学学則
- A-9 東海大学大学院学則
- A-10 東海大学教育審議会規程
- A-11 東海大学学部教授会規程
- A-12 東海大学大学院研究科教授会規程
- A-13 学園マスタープラン紹介パンフレット TOKAI CENTENARY PLAN ～Voyage to 2042～
- A-14 東海大学 2022年度運営方針・事業計画